

報道関係 各位

※このリリースは複数の部署にお送りしています

2014年10月1日

COI-T「感性に基づく個別化循環型社会の創造」プロジェクトが「2014 年度グッドデザイン賞」を受賞

明治大学・慶應義塾大学・関西学院大学・山形大学の4大学が連携・推進する研究プロジェクト「感性に基づく個別化循環型社会の創造」が、2014年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

本プロジェクトは昨年、文部科学省と科学技術振興機構の産学連携事業「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」のトライアル拠点(COI-T)に採択されたもので、万人向けに大量生産されたものを、そのまま受け入れるだけの受動的消費社会ではなく、「自らが、欲しいものや必要なものを可視化し、デザインして作りだすことができる社会」の実現を目指して研究活動を推進しています。その結果、特に「高い技術力を持ち、日本をリードする大学や企業が連携して、高速 3D プリンタの開発や、創造性を拡大する情報共有基盤やインターフェースの研究など、今後著しい成長が期待されるビジネス領域の基盤づくりが行われているのは素晴らしい」として高く評価されました。

今後は、今回の受賞を契機に、創造的生活者を中心としたモノの共創・流通・使用を可能にする社会の実現に向けて、基盤となる技術と社会制度の研究を推進していきます。

<プロジェクト概要>

プロジェクト名	感性に基づく個別化循環型社会の創造
プロジェクトリーダー	松原 健二 ((株) ロングフェロー代表取締役社長)
研究リーダー	村井 純 (慶應義塾大学環境情報学部長・教授)
運営リーダー	荒川 薫 (明治大学総合数理学部教授)
プロジェクト紹介ページ	http://www.fms.meiji.ac.jp/create/

<グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション 2014 (G展)」に本プロジェクトが出展>

10月31日(金)から東京ミッドタウンで開催される受賞展「グッドデザインエキシビション 2014(G展)」会場で、本プロジェクトが本年度受賞作として紹介される予定です。「グッドデザインエキシビション(G展)」は最新のグッドデザイン賞受賞デザインが一堂に紹介されるイベントとして毎年人気を博しています。

■会期:10月31日(金)～11月4日(火) 11時～20時

■会場:東京ミッドタウン(東京都港区六本木)



GOOD DESIGN
AWARD 2014

<本件に関わるお問い合わせ>

明治大学 生田研究知財事務室(COI-T 担当) Tel:044-934-7718 E-Mail:coi@mics.meiji.ac.jp

<プロジェクト構想>

ファブ地球社会

持続可能な地球指向デザイン
(家の建て替えを例として)

家族も増えたし
プロジェクションマッピングでイメージを見ながらみんなで増築!

子供が独り立ちするのを機にプロジェクションマッピングで減築方法を確認!

必要な材料は
間伐材を使います

柔らかくスマートな新素材
(個人用ギブスを例として)

骨折した!
3D 外部・内部スキャン

センサーがデータを送信

柔らかいスマートギブス

センサーから受信したデータがPCにたまっていき、回復具合がわかるのと同時に医療の貴重なデータにも。

共創プラットフォーム
(3D データの派生と共有を例として)

自分で花瓶をデザイン
その花瓶を別の人がリデザイン

さまざまなひとが花瓶を別の形状や質感・色に派生させていきます

結果として、インターネット上にあらゆる「もの」の3Dデータ(遺伝子)がたまってリンクし合い、生物の系統樹のようになっていきます

ひとりひとりの感性を反映
(和菓子アレンジを例として)

ストレスが溜まってモヤモヤ
アプリを使ってアレンジ

あなたの今の状態にぴったりの和菓子がフード3Dプリンタによって出力されます

それを食べれば一気にストレス解消。そして自分の感性が磨かれていくことが実感できます。

創造的生活者を中心としたモノの共創・流通・使用

地域コミュニティと拡張物質プリンタ

ファブ地球社会とは

なにかを必要とする全ての人が欲しいものや必要なものを自ら欲求を可視化し、デザインしつくりだすことができる社会。

つくりにかたやつくるために必要な工夫・ノウハウをインターネットで流通・共有でき離れた場所とも自由につながる社会。

自己充実感や成長感・達成感そして他者との連帯感に満ちて過ごすことのできる社会。

こうした未来社会を実現するための基盤となる技術と社会の制度を研究しています。

<グッドデザイン賞とは>

グッドデザイン賞は、1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで55年以上にわたって、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は39,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞です。グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。